株式会社ほにゃらら―…

皆さん
おはようございます

えー
今日から「シニア社員」
として我が部に
来ていただく方を
紹介します

田中です
よろしく
お願いいたします

えー
昨年までは営業部で
部長をやっておりましてね
ご存知の方も
多数いらっしゃる
でしょうが……

若いころはですね
海外研修でロサンゼレヤ
香港・マカオ…と
いろいろ行き
ほ世界各地で
めた切手や
レコードでして
またこのレコード

うにゃうにゃ

すみません
そろそろ時間も
ですね

えっ!?

お？
見たこと
あるような…？

皆さんが生まれる前から
社に在籍していますからね

色々役に立てたらなあ
と思います
どうぞよろしく
お願いします

深々～

パチパチ
パチ
パチ

ふふ
良い人そうで
良かったわね

先輩…

あやつ…何者じゃ？
んっ
顔むかっく!!
えっ!? 何!? なんでいきなりそんな偉そうなの?!
田中さんは元々は営業部長だったけど
『シニア社員』としてうちの部に来られたの
ふみゅう…
いわゆる『継続雇用者』
あの方たちもよ
ふむ
この間孫がねぇ
それは
大変ですねェ
うちの会社の定年が60歳なのは知ってるわよね？
はあ
今は会社の定年が60歳と定められていても労働者が希望すれば65歳まで雇用しなくてはいけないと法律で定められてるの
詳しくは資料編をご覧下さい!!
スクロール
せっかく定年という大義名分で会社を辞められるチャンスとなにものにも縛られない自由を手に入れたのに
ギチィ…
また会社という縄で縛られたいとかあれですか マニ
発言を慎めええええ!!
初回からぶっとばしスギだから!!
どこで炎上するか!
ネットは怖いよ!!
発言がひとり歩きして…
ガミガミ

※老齢厚生年金の支給開始年齢につきましては P.81 をご参照ください。

でもね
日本はこれからどんどん少子高齢化が進行していくし
2015年
男
女
2070年
男
女
つり鐘型からおっぽねへ
労働力人口もどんどん減っていくことは必至でしょ？
誰がおっぽねっ？
ギブ
ギブ

最近は高齢者といっても元気な方が多いし
日本がこれからも発展していくためには知識と経験を持った彼らにも働いてもらう必要性は大きいと思わない？
はっ
つまり高齢者が若者を支える時代になってきたってことですね！
ぽむっ
えっちょっと待って
そこまでは言ってない…
え―

定年後も働くって？

うーむ。
どうして定年後も働き続けねばならんのだろう…？

働く理由は人によって様々ですよ。お金のためだったり、生き甲斐のためだったり…。いずれにせよ、「①働くことを希望する人が多い」ということ、「②企業も高齢者の能力を活用したいと考えている」ということを理解することは重要そうですね。

需要もあるし供給もあると…。

そうですね。また、日本は高齢化が進んでいますし、高齢者には社会保障を受けるだけでなく、社会を支える役割も担ってほしいという要望もあるでしょうか。年金制度が変わり、年金をもらえる年齢が引き上げられたのはご存じですか？

はあ、一応…。

60歳定年の会社を60歳で退職しても、現在の年金支給開始年齢（※老齢基礎年金）は60歳より上なので、年金を受給されるまで無収入になります。ですので、年金が出るまでの間は継続雇用で生計を立てることが必要な人が多いのですよ。

そもそもの定年を65歳に引き上げないのですか？

もちろん、定年自体を引き上げたり、定年制を廃止したりしている会社もありますよ。

うーん、高齢者を雇うのって会社にとって負担じゃありませんか？

どうして会社にとって負担となると思うのでしょうか？

えっ!?…若年者の雇用機会が減るとか…業績が下がるとか…？

なるほど。では、それは第二話で考えましょう！

えぇっ!?次回へ持ち越し!?